



ひょうごローズクラブ
Hyogo Rose Club

Scent of Roses

バラの香り

<http://www.rosehyogo.jp>

奥深いバラの世界

バラの種類と分類

ひょうごのバラ園

世界の文献にみるバラの話

創刊記念号

2007.6

バラがいつごろ誕生したのかは、定かではありません。

3千万年前とも7千万年前とも言われています。

どちらにしても人類が誕生するより

はるか以前から生き続けてきました。

私たち日本人にとっては、

バラはまだ秘密のベールの向こう側。

知ってこそ、実はあんまりよく知らないことがいっぱいです。

ですから、そんなお話から始めたいと思います。

ひょうごローズクラブへようこそ。

一緒に「ローズ・ライフ」を楽しんでみませんか？



兵庫県知事
井戸 敏三

ひょうごローズクラブ 設立を祝して

バラの愛好家が集い、「ひょうごローズクラブ」が設立されました。心からお喜びします。

昨年の「のじぎく兵庫国体」では、花いっぱい運動に取り組んできた兵庫に、全国の人々をお迎えし、さわやかな交流が広がりました。

美しい花々は、私たちに元気を与えてくれるとともに、人と人、人と自然の交流を育みます。また、花づくりを心身の健康づくりに生かした「園芸療法」も広がっています。

県民一人ひとりが心豊かに、いきいきと暮らすことができる地域づくりには、豊かな花と緑が欠かせません。とりわけ、「花の女王」と呼ばれるバラは、県内にいくつもの魅力あふれるバラ園があり、多くの人々に親しまれています。

それだけに、バラを愛する皆さんが、交流を深めながら、花と緑あふれるまちをつくっていかうと、このクラブを設立されたことは、本当にうれしいことです。

「ひょうごローズクラブ」の多彩な活動を通して、暮らしの中で花々や緑を楽しむ園芸文化が大きく広がっていくことを願っています。



ひょうごローズクラブ 会長
植村 武雄
(小泉製麻株式会社)
取締役社長

ごあいさつ

このたび、バラを愛する人たちが集まって「ひょうごローズクラブ」を設立することとなりました。バラの魅力をもっと多くの人々に知ってもらい、もっとみんなで楽しもうという集いです。

バラは「花の女王」と呼ばれ、世界の様々な国で愛好家が集い、楽しみながら独自の園芸文化を培ってきました。またそうした愛好家たちは国際的な交流をも生み出しています。そうしたことをバラにゆかりの深いこの兵庫県でぜひ始めたいと考えたわけです。

バラはなぜそんなに多くの人々を魅了するのでしょうか。古代エジプトの女王クレオパトラは、バラは永遠の若さを保ち異性を引きつける力を持っていると信じ、バラを宮殿一杯に飾り、バラの花びらを浮かべたお風呂に入り、バラの香油を愛用したそうです。同様にフランスでもルイ16世の妃マリー・アントワネットやナポレオン皇帝妃ジョセフィーヌがその愛し方に違いはあれ、バラの魅力に取り憑かれたことが有名です。またイギリスでもアメリカでも国花はバラ、そしてイスラム教も、白バラはマホメット、赤バラはアラーの象徴としているのです。

日本では、花を見て楽しむ方が多いようですが、バラは太古の昔から香水の原料とされてきたことからわかるように、ヨーロッパでは鑑賞だけでなく香りを楽しむ方も多いようです。また最近では花や実(ローズヒップ)をお茶やジャムにして、薬として、あるいはアロマセラピーに使うようになってきました。

「ひょうごローズクラブ」では、このように花や香りを愛で、実を楽しむ、バラの奥の深い魅力に触れ、潤いのあるライフスタイルの一角にバラがある、そんな暮らしのきっかけになるよう、さまざまな活動を行っていく予定です。今後の「ひょうごローズクラブ」にご期待ください。

- 1 ひょうごローズクラブへようこそ
- 2 ごあいさつ
- 3~4 奥深いバラの世界
- 5~6 バラの種類と分類
- 7~8 ひょうごのバラ園
関西のバラの歴史
- 9 世界の文献にみるバラの話
- 10 会員のページ



バラって、いったいどんな植物なのでしょう。長年その生産に関わってこられた宝塚・確実園本園の園芸家 前野義博さんに、バラについての基本的なことを教えていただきました。

奥深いバラの世界

バラの世界に足を踏み入れてから30年以上になります。職業として、苦勞も多かったのですが、それ以上に多くのバラたちと出会えたことを幸せに思っています。出会った多くのバラの中で、特に好きなものは数多くありますが、嫌いなものは一つとしてありません。どのバラたちもそれぞれが四季折々に固有の魅力を見せてくれるのです。

種類

バラの品種は多く、3万品種とも言われていますが、毎年多くの新品種が発表されているので実際にはもっと多いでしょう。バラの魅力はただ品種が多だけでなく、それぞれの持つ形態の多様さにあります。

これからの新しい品種の開発には、この香りのよさや強さとともに、栽培の容易な強健で耐病性の強いものが求められており、世界中のバラのブリーダー（育種家）の共通した目標になっています。

育種

樹形

バラのほとんどが上に向かって伸びますが、日本のテリハノイバラの血を受け継いだものは、平地では真横に、斜面では下に向かって伸びる性質があり、グランドカバーに使われています。またツルバラでは、そのフック状のトゲを使い、立木や岩壁をやすやすと登ってゆくものもあります。

香り

バラの花の大きな魅力はその香りにもあります。香りの女王と称される上質で、誰にも好まれるバラの香りは、その癒し効果から、古代より薬用や香料として珍重されてきました。バラの香りは単一なものではなく、いろいろな香りを持つ原種が関わり、現代バラでは特に複雑にからみあい、どれ一つとして同じ香りはないといえます。小さな花でも強い香りを持つものがあり、宇宙飛行士の向井千秋さんが、宇宙での香りの実験にミニバラ（オーバーナイト・センセーション）を選んだのは有名な話です。



花数

中輪のバラは3~10輪の房咲きになり、花数が多く花もちもよいので人気があります。また大輪花のように、一枝に一花を咲かせるものから、小輪花では一枝に50輪以上も咲かせるものまであります。



樹高

ミニバラの矮性種などでは、何年育てても樹高が10cm以下にしかならず、もっぱら鉢植えで楽しむことになります。野生種に近いランブラーローズのような系統では、1年に5m以上も伸び、枝葉を茂らせるので、小さな小屋ぐらいなら数年で多い尽くすほどの強大な生育を見せるものもあります。



花弁

花弁(はなびら)は原種では5枚が基本(希に4枚)で、改良された現代バラにも5弁の一重咲きが多くあります。まるで桜やコスモスのようですが、その清楚な美しさから、近年は人気も高まっています。花弁の多いものでは、オールドローズのケンティフォリア種は、名そのものが百花弁を意味していて、実際にその花弁数は100枚をこえます。オールドローズとの交配によって新しく生み出された品種(イングリッシュローズなど)は、50枚以上も花弁を持つものが多くあります。



花色

花色の好みは年々変化し、最近では淡い色や、落ち着いたクラシックな感じのブルー系やブラウン系のバラが好まれています。サントリーが現在開発中の「青いバラ」が完成すれば、バラの花色はほぼ全てをカバーすることになりますが、もっと思いもよらないような花色の出現があるかもしれません。

花色も全て揃い、さまざまな形態を持ち、よい香りにつつまれたバラたち。もうこれ以上のものはないのではと思われるでしょうが、まだまだ改良の余地があります。より美しい花色、より香り高いもの、より強健に育つものへと開発は続けられているのです。

前野 義博 (まえの よしひろ)

1946年、鳥取県生まれ。大阪府立大学農学部遺伝育種科卒業。68年に確実園本園に入社、バラの苗木生産、販売に関わる。各地で切り花の生産指導、各地公園やバラ園の栽培指導、園芸愛好家へのバラの栽培指導などを行っている。



花の大きさ

それぞれの花の大きさも驚くほどの違いがあります。満開でも5mmに満たないもの(ホワイト・ジュエルズ、上写真)から、20cmを越えるもの(その名もチャンピオン)まであります。

バラの種類と分類

「バラ」といわれて思い浮かぶのは、どんな花でしょうか。まっすぐな枝に尖った花びらを外側に反り返らせた大輪の赤いバラ？ それとも花のアーチをつくる可憐な白いバラ？ 現在、バラは3万品種以上あると言われていますが、枝変わりや自然交配に頼っていた18世紀までは、何と数十品種しかありませんでした。飛躍的に発展するのは19世紀に入ってからで、偉大な貢献をはたしたのが、ナポレオン皇帝妃ジョセフィーヌです。

1802年、植物好きのジョセフィーヌは世界中から集めたタネを、ナポレオンから贈られた、パリ郊外のマルメゾン宮殿の庭園で育て始めました。特に好んだのがバラで、2500品種にも達したコレクションを多くの植物学者や園芸家を集めて研究させました。もちろんこの中には中国のコウシンバラや日本のノイバラ、テリハノイバラやハマナスも含まれています。そして、その園芸家の中の1人、アンドレ・デュボンが、ついに人工交配でバラを増やすことに成功。残された図譜によると、その後のわずか20年足らずの間に何と4000品種以上の新しい品種が生まれたのです。



そして1867年、剣のように尖った花びらを外側に反り返らせたハイブリッド・ティーの元祖「ラ・フランス」が誕生。フランス人のギョーが発表したこのバラは、世界中の人々のバラに對するイメージを一新しました。モダンローズ（新しく作られた花）の登場です。以来、バラは四季咲き・大輪・高芯咲きタイプ、つまりモダンローズが主流になり、それ以前の花を「オールドローズ（古い時代の花）」と呼ぶようになりました。

ただし、オールドローズとモダンローズの間には異説があつて、この1867年の他に、コウシンバラが中国からヨーロッパに導入されて「フゼット」や「ブルボン」が生まれた1800年をその年とするものもあります。

さて、オールドローズには、西洋生まれで古典種と呼ばれる「ガリカ」「ダマスク」「アルバ」「セントフォリア」などがありますが、その魅力は何と言つても甘い香りとやわらかな花びらが幾重にも重なるデリケートな花形です。でも悲しいことに春しか咲かない。季咲きでしたから、四季咲きの「コウシンバラ」の出会い、まさにバラ革命でした。

そしてさらに、日本のノイバラの房咲き性を受け継いだ「フロリバンダ」、枝がよく伸長するテリハノイバラのつるバラ系「クライミング」「シュラブ」、そしてミニバラ系など、モダンローズは、驚くほど短い期間に次々と新しい品種が生み出されています。

モダンローズを作るため人工的に組み合わされたのが、「ワイルドローズ（野生種、原種）」

と呼ばれるバラで、実際に使われたのは10種類（説では8種類）ですが、全体には世界で200種ほどが確認されています。そして、近年、花全体で起こっているこの原種系の人気はバラにも移り、ワイルドローズ系やオールドローズ系のバラに再びスポットが当たっています。

とはいえ現在のオールドローズ系のバラ人気は、単純な自然回帰ではありません。そこにはオールドローズの優雅な花形や香りを持ちつつ、さらにモダンローズの四季咲きで多彩な色を合わせ持つ「イングリッシュローズ」の存在があります。1969年、イギリスの育種家D・オースチンによるオールドローズとモダンローズの出会い。この第二のバラ革命は、爆発的なヒット商品を産み出しました。現在イングリッシュローズ系には100を超える品種が出回っています。

ワイルドローズがあり、そしてオールドローズ、モダンローズ、イングリッシュローズなどの変遷の中から様々な品種が生まれ、今では3万品種を超えるバラの花。新しいバラを求めてやまないバラ愛好家や育種家達の情熱は、とどまる事を知らないようです。それでもまだ野生のバラの中には、優れた形質を持つているのにこれまで一度もバラの育種に使われていない花がたくさんあります。それらを使つてさらに違うタイプのバラが生まれる可能性が残されています。さらにバイオテクノロジーを駆使した新しいタイプのバラが出現するかもしれません。どうやらバラの将来は益々刺激的なものになりそうです。

人気の品種

ショップのウインドーをのぞくと、ひところとは違うバラを目にします。色も形も目新しい物があつて、特に二重のバラには「これもバラ？ かわいい」という声。

人気があるのはオールドローズ系。ことに新種や重（平咲き）の花に注目が集まっています（「アンダルシア」「カクテル」「ピュア」「デンティベス」など）。そのほか、ロゼット咲きやカップ咲きの八重の花、それに一本の主径に数本の花柄をつけたスプレータイプも人気です。

花の形（花の咲き方）

原種に多いのは、平咲きと呼ばれる一重の花。これは二重の花だと簡単に受粉できるからということで、種の保存にとつての理想の形といえます。その平咲きが突然変異で進化したのが、半八重咲き。半八重咲きは美しい花形のために徐々に手が加えられ、さらに異なる形へと進化しました。「ロゼット咲き」、「クォーター咲き」、「カップ咲き」など。現在、花の形はいくつかのグループ分けがありますが、他の代表的な物としては、剣弁高芯咲き、「半剣弁高芯咲き」、「丸弁抱え咲き」などがあげられます。

花の色

バラの基本色は、赤色、朱色、ピンク色、黄色、紫色、オレンジ色、白色。バラの花色が豊富なのは、これらの色を掛け合わせることで無限の色ができるから。新しい色が次々に生まれています。

昔から人気があつたのは、赤、黄、白、ピンクの4色。ところがその色合いは大きく変わりました。鮮やかでクリアな色が敬遠されて、くすんだダーク系の色合いが好まれるようになってきたのです。特に

バラの分類

バラは正式に名称登録されているものが3万品種もあると言われてはいますが、その分類法は統一されていないのが現状のようです。ここでは日本で使われる一般的な分類を紹介しましょう。

ワイルド・ローズ 原種バラ(Sp)

200種類あると言われるが、現代バラの祖先種をたどると、7、8種の野生バラにたどり着く。

中近東の原種

ロザ・フェティダ
純黄花の祖先

欧州/小アジアの原種

ロザ・フェニキアなど
大輪・香りバラの祖先

中国の原種

ロサ・キネンシス
四季咲きの祖先

日本の原種

ノイバラなど
房咲きの祖先

オールド・ローズ

▲非つる性

アルバ系(Alba) 花色は白から淡いピンク。甘い香り。生命力が強い
ブルボン系(Bourbon) 大輪で多花性、芳香は甘く、四季咲きが多い
ボールソルト系(Boursolt)
チャイナ系(China) 四季咲き性の生みの親、香りも強く小型樹形が多い
ダマスク系(Damask) 花色はピンク系。濃厚な香りは香料の原料。一季咲き
ガリカ系(Gallica) 赤紫系はガリカ系のみ。枝にも強い香
モス系(Moss) ガクと子房にある密毛が、粘着性の芳香性オイルを生み出す
ポートランド系(Portland) 直立系で四季咲き。香りはダマスク系に似る
ケンティフォーリア系(Centifolia) キャベツバラとも呼ばれる多弁
スイート ブ라이어系(Sweet Briare)
ハイブリッド パーペチュアル(HP) ハイブリッド・ティ系の親

ロサ・フェティダ・ペルシアナ(HP)
ティー系(Tea) 木立性四季咲き種の元祖。花色多様。茶の葉をもんだ香り
ハイブリッド・フェティダ系
ハイブリッド・ムスク系

▲つる性

エアシャー系(Ayashire)
クライミング ボールソルト系(Cl.Boursolt)
クライミング・ティー系(Cl.Tea)
ノアゼット系(Noisette) 小輪咲きで白やピンクが大半。香りはさわやか
センパーヴィレンス(Sempervirens)

モダン・ローズ

▲非つる性

シュラブ グランド カバー系(SGC) 一季咲き/四季咲き
半つるバラ。イングリッシュローズも正式にはこの系統。
イングリッシュ・ローズ系(Eng) 四季咲き:
ミニチュア系(Mini)、
現代ミニバラの総称。小輪で低樹高なので鉢植えはもちろん、
ベランダや狭い場所でも楽しむことができる。
ブッシュ系
ハイブリッド・ティー系(大輪咲き)(HT)
四季咲きの大きな花、色も香りも豊富な現代バラの代表的存在。

フロリバンダ系(中輪房咲き)(FL)
枝が分かれた茎にたくさんの中輪の花。四季咲きで色も豊富
グランディフローラ系
ハイブリッド・ティー系とフロリバンダ系の中間型
パティオ系(小中輪房咲き)(Patio)
ポリアンサ系(小輪房咲き)(Pol)
▲つる性モダンローズ 一季咲き/四季咲き
ランブラー クライマー系(R)
クライミング ミニ系(Cl.Min)
イングリッシュ ローズ系(Eng)

樹形

植物は見る楽しさよりも、やっぱり育てる楽しさの方が大きいようです。それでいくと、さまざまな樹形を持つバラには、実に様々な育て方、つまりは楽しみ方があります。

ダイナミックに楽しみたい場合は、つるバラ(クライミングローズ)や、それより枝が細くしなやかで仕立てがしやすいランブラーローズで壁やフェンス、アーチなどを飾りましょう。包み込むように枝を配置すれば、庭の中に自分だけの空間を作ることにも可能です。樹勢の強い物なら小さな小屋はもちろん、2階建ての家もすっぽりくるんでしまいます。

株立ちが良く樹高も適当なフロリバンダローズで、垣根や花壇を作るのも楽しそう。今人気のイングリッシュガーデンは何と言ってもバラが主役です。

もちろん庭がなくても大丈夫。つるバラなどはコンテナで育てた方が管理がしやすく、ベランダで育てるのに向いているとも言われています。またミニバラを使った寄せ植えは、年々人気がうなぎのぼり。開花の時期をずらしたり、草丈に変化をつけたり、他の植物と混ぜたり、楽しみのバリエーションが広がります。そうそう、片手ですっぽり包み込まれそうな小さな鉢植えもあります。食卓のアクセントにいかがでしょうか。

こんなにたくさんあった！

ひょうごのバラ園

国柄で違うバラの好み

世界に共通したバラの印象は「優雅」であり、どの国においてもバラは観賞用植物の中で最高の地位に君臨しています。

しかし、どういった段階にあるバラの花が一番好きかという点では、その国の文化や個人的な好みで感じ方が随分と違っているのです。

アメリカ人は半ば開きかけた頃の姿を好みます。また、イギリス人は咲き誇った姿を崇拜しているといっても過言ではありません。フランス人は花びらが散りかけた姿も美しいというそうです。日本人なら満開手前でしょうか？

庭の中でのバラの表情

バラの庭も、国柄や個人で好みの差が大きく出るものです。

あなたの好きな庭は、整形形式庭園の中のモダンローズの花のトンネル、あるいはツルを一面に這わせたクライミングローズの壁かもしれません。また、シユラアローズが、ギボウシやカンパニュラといった他の植物と美しく調和している自然風の庭かもしれません。はたまた、多様な品種が一堂に介した姿を見るのが大好きという人もいるでしょう。バラの庭もその花色と同じように千差万別です。あなたの好きなバラの庭はありますか？

ひょうごのバラ園に出かけよう

自分のバラの好みを探る旅に出かけませんか。バラの種類、季節による花の様子、他の植物や景色との相性、そうした自分の好みを考えていると時間が経つのも忘れず、ほとんどのバラ園が5月末に満開を迎え、花の少ない夏が過ぎ、秋のバラでまた魅力を取り戻します。

わが兵庫県にも、公共の公園からプライベートガーデンまでたくさんのバラの庭があります。号を追ってつづつ詳しく紹介していきますが、ここでは主要バラ園の一覧を会員の皆さまにお届けします。

神戸市立須磨離宮公園バラ園

神戸市須磨区東須磨1-1 TEL 078-732-6688

- 入園料:400円
- 開園時間・バラの観賞期間
年末年始を除き9:00~17:00
木曜日休園 ※4/29~8/31の土・日・祝日は9:00~20:00
(入園~19:30、夜間ライトアップ~19:45)
・春のローズフェスティバル:5月12日(土)~6月17日(日)
・秋のローズフェスティバル:10月初旬~11月下旬
- みどころ
侯・貴族の名を冠したコレクション160種、4000株が咲き誇る、神戸随一「王侯貴族のバラ園」

姫路ばら園 (巻末に紹介)

姫路市豊富町豊富2222 TEL 079-264-4044

- 入園料:500円
- 開園時間・バラの観賞期間
春:5月初旬~6月中旬 9:30~16:30
秋:10月初旬~11月中旬 10:00~16:00
開園期間中無休
- みどころ
野生バラ、オールドローズ、イングリッシュローズ、モダンローズなど、800品種、3500株の世界のバラ。
喫茶・ギフトショップ併設

荒牧バラ公園

伊丹市荒牧 TEL 072-784-8096

- 入園料:無料
- 開園時間
9:00~17:00 火曜日休園(5,6,10,11月は無休)
5/15~5/31,8/15~8/31は9:00~18:00
6/1~8/14は9:00~19:00まで
- みどころ
伊丹市姉妹都市ベルギー国ハッセルト市の「ハッセルトのバラコーナー」や友好都市中国仙山市の「フーシャンのバラコーナー」、ウィーピング仕立てのフクリリシダ花壇他、250品種、10,000株のバラ

尼崎市農業公園バラ園

尼崎市田能 TEL 06-6489-6542

- 入園料:無料
- 開園時間・バラの観賞期間
入園自由・年中無休
5月中旬~下旬、10月中旬~11月中旬
- みどころ
・尼崎市における最初の本格的大規模バラ園
・3.6haの公園に1000m²のバラ園
・HTを中心に、100品種、4000株のバラ

関西のバラの歴史

ひょうごローズクラブ理事 藤岡友宏
園芸コンサルタント

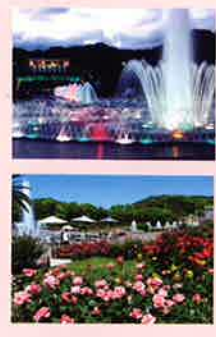
日本で本格的なバラの園芸品種の栽培が始まったのは明治6(1873)年ころ、政府が作った開拓使が36品種を米国から輸入したのが最初で、開拓使がその苗を接ぎ木して民間に払い下げ、そこから一般に広まったのです。

日本の園芸が盛んな地域は、いづれも特産の鹿沼土や日向砂糖の土壌があるところで、関西では、宝塚の山本の天神川砂があつて、これが貝塚伊吹の挿し木や、産地の接ぎ木に役立ち、宝塚は大きな生産地になりました。山本におけるバラの栽培は、明治25年ころに「バラ園」と「牡丹園」が始めたといわれ、松方コレクションで有名な松方直方氏がバラを持ちこえり、神戸の別荘で栽培していたのを、庭師として出入りしていた坂上元右衛門氏が枝を貰って接ぎ木をしたのが最初だといわれています。その後は宝塚から関東の「ばら新」に、接ぎ木を手伝いに行った人たちが持ち帰って繁殖したといわれています。そのころのバラは全て日本名が付けられていました。

昭和2年に関西で初めてのバラ会ができました。京都の伏見に居られた岡本勘次郎氏が千葉大学を卒業後に園芸の勉強のためにヨーロッパを回られた後、会長に菊池秋雄氏、常任幹事として岡本氏本人や田中秀三郎氏が就任し、幹事に前述宝塚山本のバラ園の金岡善蔵氏、大和農園の相山誠治郎氏、津賀栄太郎氏、平井傳三郎氏等を据えて、大日本薔薇協会を作りました。

当時、関東にも帝国バラ会があり、同じように会報などを出していましたが、関西は学者や営利栽培家などが中心で、関東はアマチュア中心だったようです。

そのころから新しいバラが次々と輸入され、バラ栽培も販売も盛んになったのですが、戦時になってバラの輸入も途絶えました。バラを取り巻く活動は敗戦後の昭和23年、日本バラ会が誕生したことから再開されました。その関西支部が寺西致知氏や浜田隆介氏などによって活動を始め、大阪の大丸百貨店でバラ展を開催、成功させたことで関西にまたバラの活動が営まれるようになったのです。



その他のバラ園

(無料)

山手バラ園

所在地:神戸市中央区下山手通
問合せ先:078-351-6756
12品種、450株

本山バラ園

所在地:神戸市東灘区岡本2丁目
問合せ先:078-854-2196
600株

高塚公園バラ園

所在地:神戸市西区高塚台5丁目
問合せ先:078-795-5656
10品種、300株

蓬川緑地バラ園

所在地:尼崎市蓬川荘園
問合せ先:06-6422-5294
26品種、970株

上坂部西公園バラ園

所在地:尼崎市東塚口町2丁目
問合せ先:06-6422-5294
10品種、230株

潮江公園バラ園

所在地:尼崎市潮江3丁目
問合せ先:06-6422-5294
70品種、1000株

水明公園バラ園

所在地:尼崎市水明町
問合せ先:06-6422-5294
60品種、3500株

瓦林公園バラ園

所在地:西宮市上甲子園3丁目
問合せ先:0798-35-3613
12品種、550株

アンネのバラの教会

所在地:西宮市甲陽園
問合せ先:0798-74-5911
アンネのバラのみ50株

岩ヶ平公園モンテベロバラ園

所在地:芦屋市岩園町
問合せ先:0797-82-3570
200品種、400株

イタミ・ローズガーデン

所在地:伊丹市鈴原町
問合せ先:072-781-2906
バラの展示販売

グリーンピア三木バラ園

所在地:三木市細川町
問合せ先:0794-83-5211

北播磨余暇村公園バラ園

所在地:多可町中区牧野
問合せ先:0795-32-1543
40品種、760株

兵庫県立播磨中央公園バラ園

加東市下滝野 TEL 0795-48-5289

■入園料:高校生以上大人300円 小・中学生150円

■開園時間・バラの観賞期間

9:00~17:00、火曜日休園(入園~16:30)

5月下旬~6月上旬、10月下旬~11月初旬のばらまつり期間中は無休

■みどころ

「四季の庭」の中の1.5haのバラ園に春から秋にかけて146品種、4198株の各種バラが次々に咲き誇る。つるのサラバンド、サマースノー等の仕立て、特に春・秋のつるバラのアーチが人気。



兵庫県立フラワーセンターバラ園

加西市豊倉町飯森1282-1 TEL 0790-47-1182

■入園料:大人500円 中高生300円 小学生150円

■開園時間・バラの観賞期間

9:00~17:00 水曜日休園(入園~16:00)

5月中旬~6月上旬、10月上旬~11月中旬

■みどころ

バラ園を含む大小さまざまな花壇や温室がある。品種展示型のバラ園として各品種を見やすく整理。ロサ・キネンシス、コウシンバラなどの原種・バラの季節の苗販売(ツルバラ1800円 オールドローズ2000円等)



兵庫県立明石公園バラ園

明石市明石公園 TEL 078-912-7600

■入園料:無料

■開園時間・バラの観賞期間

入園自由・年中無休

5月中旬~下旬、10月中旬~11月中旬

■みどころ

明石城跡が中心の都市公園にバラ園約400m²「ダイアナ・プリンセス・オブ・ウェールズ」「ジュビレ・デュ・プリンス・ドゥ・モナコ」等26品種、600株。



大井戸公園バラ園

尼崎市南武庫之荘3丁目 TEL 06-6422-5294

■入園料:無料

■開園時間:入園自由(年中無休)

■駐車場:なし

■みどころ

園全体で26,479m²の広さ。バラ園には約100品種、2500株のバラがある。他に散策路、水の流れや古墳等があり、緑の中の散歩が楽しめる。



日本バラ会の関西支部は、後に岡本氏や前田敏文氏、鈴木省三氏の協力もあり、次第に発展して(二時関東の本部と分かれて)新日本バラ会として活動した時代もありました。昭和33年4月には関西支部会報誌の10周年記念号も発行されています。

昭和25年ごろ、バラブームが起り、昭和27年に来日した米国のメトロポリタンのオペラ歌手ヘレン・トロウベルが日本バラ会を通して250本の苗を寄贈し、それが全国に植えられることで最高潮に達しました。

昭和30年には朝日新聞が主宰する朝日バラ協会の発足し、並河功氏、岡本氏、前田氏などの戦前の大日本薔薇協会の人たちが中心になり、枚方にバラ園と研究所をつくり、学術的な会報を出すようになりました。また、他に神戸バラ会や甲南バラ会等各地のバラ会も生まれ、バラの展示会や即売会が広く開催されるようになったのです。

宝塚の山本でも、こうしたブームを通して、バラ苗生産が盛んになり、大量のバラ苗が生産されていたのですが、あるとき、関東の三宿ばら園が輸入していた英国のマグレディーの苗に、今でも日本で発生しているのなかつた穴ト病(葉に発生し、激しいと落葉して大きな被害となる病気)に感染した苗が入ってきて、山本のばら園を通して拡がり、対策できなかった全ての生産者の苗が感染して大打撃を受けたのです。これがバラブームに水を指す形になりました。

その後、バラブームは去り、地方のバラ会も次第に消滅していきました。しかし、バラの魅力が忘れ去られたわけではなく、現代人のライフスタイルに園芸が浸透してきた昨今、栽培の状況も進歩して、日本の各地に大きなバラ園が作られるなど、またブーム復活の兆しが見えてきました。

今でも全国組織である日本バラ会が残っていて、2006年に大阪で世界バラ会議を開くなどの活動を続けていますが、兵庫県は大きなバラの産地や全国に名の知れたバラの育種家を抱えていて、また多くのバラ園もあるところで、地域独自のローズクラブを中心としたバラ文化が花咲くことが期待されるのです。兵庫県のバラ園や生産地での栽培品種などもこうした会報や活動で詳しく紹介していきますながら、バラの持つ魅力がこのひょうろローズクラブを通して一人ひとりの暮らしに溶け込んでいくことを願っています。